

# 西公民館だより

2018年10月  
発行 西公民館  
西町1丁目19-2  
Tel 925-0442

## ホロコースト記念館を見学

### ◆平和のために私に出来ることは何か◆

8月25日(土)総務部会では、平和について知識を深める活動として、御幸町中津原の『ホロコースト記念館』を30名が見学しました。ここは2007年に平和の白い建物に新築され玄関入口にはアンネが窓から見たマロニエの、その種から育った若木が植えてありました。

最初にホールで説明を受け、大塚館長さんのお話を聞きました。アンネのお父様との出会いから今日まで一筋に平和を追い求める館長さんの熱い思いが伝わってきました。



ホロコースト記念館



マロニエの木



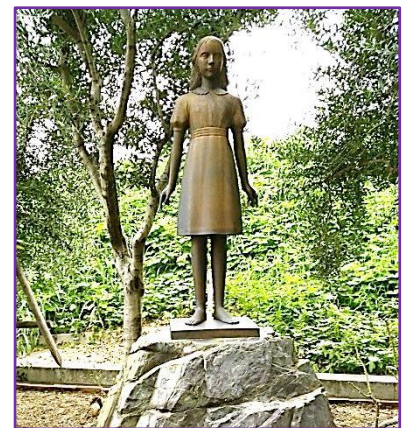
館内ビデオの大塚館長さん

◆その後2組に分かれて職員さんの丁寧な解説を聞きながら展示場を見学、アンネの展示場ではアンネが12歳から3年間書き続けた日記のレプリカなど、貴重な遺品が展示されていました。さらに実際にアンネが隠れていた部屋や家族など8人が住んだ家の模型が再現されており、狭い場所で息を殺して生活していたことに涙が出ました。

◆そして、ナチスがユダヤ民族を迫害して600万に近い人々(特に150万人の子ども達を)虐殺した歴史を学びました。次はアウシュビッツ収容所の展示へ、収容所のジオラマ、実際の収容所服、犠牲になった子どもの靴の遺品を見ていくと胸が締め付けられました。

◆このような悲惨な時代の中でも600以上のビザを発給して約2000人のユダヤ人を救った杉原千畝の勇氣ある人道的な行動の展示を見ると、本当に心が救われます。こうした方は当時外国にもおられました。デンマークの正義と言われたクリスチャン10世、フランスのトロクメ牧師、スウェーデンのウルル・カレンバーグ、マリオン・ブリチャード、中国の何鳳山、ポーランドのアウシュビッツの聖者と言われた、コルベ神父、ユダヤ人の孤児たちと共にホロコーストの犠牲になったコルチャック等です。

◆ホロコースト記念館へまだ行かれていない方、是非見学をしてみてください。そして自分自身に「なぜ虐殺が起こったのか」「平和のために私に出来ることは何か」と問いかけてみてください。



バラ園に立つアンネ・フランクの銅像

### 『ばらの剪定講習会』

◆環境部会では、8月31日(金)10:00~11:00に西公民館いこいの広場(ばら園)でばらの剪定講習を14名の皆さんが汗を流して受講しました。この時期の剪定は冬の強剪定以後に伸びた枝を整理し、秋によいバラを咲かせるために行うものです。

◆枯れ枝・ふところ枝・交差した枝・細い枝は付け根から切り、全体の1/3を切り落とします。切る位置は5枚葉の上を斜めに切り落とします。できるだけ5枚葉を多く残して養分をとらせてよいバラを咲かせるのがポイントだとコツを教わりました。



### 『交通安全教室』

～学区内の危険箇所を歩きました～

◆安全部会では、9月8日(土)「交通安全教室」を開きました。78名の参加者は西公民館で東警察署交通第一課長・宇佐美警部より、道路の歩行と自転車の通行についての注意点を説明して頂きました。次に班に分かれて実際に道路を歩き、信号や交差点の渡り方など、安全な歩行訓練をまなびました。



### 『駅前交番に出頭しまして…』

～「駅前交番連絡協議会」に出席～

◆9月19日(水)10:00 駅前交番で連絡協議会が開かれて西学区3名、南学区3名、霞学区3名駅前交番の警部補3名の内8名が出席で協議をしました。交番管内の犯罪と交通事故の発生状況説明や窃盗・特殊詐欺発生状況を真剣に聞きました。意見交換では、外人が深夜まで飲み屋で騒がしい、道路の白線が消えているなどの意見がでました。

◆その後は駅周辺で交通安全のチラシを皆さんに配りました。



### 『足元を知ろう～大地は動く～』

◆環境部会では9月20日(木)西公民館で、日本地質学会員・寺延興三先生をお招きして、私達の住んでいる土地の地質について講演を2時間聞きました。\*福山は芦田川のデルタを干拓しているの地盤が弱い事\*地球の大地は48億年間動き続ける「プレートテクトニクスの理論」\*自然は人類に優しさや厳しさも与えることを謙虚に正しく受け入れ、日頃から防災教育が必要と話されました。「昔の地学は難しかったが、今日はよく分った」との声が聞かれた貴重な講演会でした。



### 『青少年の補導に行きました』

～道を迷わないで、優しく声掛けしました～

◆9月20日(木)午後3時に総合娯楽施設で補導活動をしました。これは福山市中央青少年育成員協議会が主催して、西公民館長も会員なので出動しました。◆この日ゲームセンターで3人の中学生に「中学生は立ち入り禁止だよ」と注意すると素直に帰りました。◆子どもの非行の始まりは喫煙と万引きです。ここの施設も喫煙室や階段の踊り場や駐車場の隅が子どもがたむろして喫煙します。終りに育成員全員で振り返りの会をして解散しました



### 『福山まちづくり大学を受講！』

～他の学区のまちづくりを学びました～

◆9月22日(土)午前10時、西部市民センターで福山まちづくり大学を西学区から3名受講しました。◆今回は3団体の事例発表がありました。\*福相学区の地域をつなぐ活動、砂留の保存・わくわく市。\*福山大学の地域を学ぶ街なか教室「プロジェクトM」。\*今津学区の学区・大学・連携事業交流で育むまちづくり。いずれも創意工夫した取り組みに感動しました。◆その後、ディスカッションとアトラクション(今津学区のチアダンスチーム)の華やかなダンスを見ました。



## 『学区民の安心と安全の確保』

防火協会西支部長 宇ノ木俊治

福山市南防火協会西支部は防火思想の普及徹底並びに消防力の充実強化に努め、火災等災害の未然防止を図ることを目的に活動しています。活動内容は、(①秋・春の火災予防運動の実施期間中、火の用心幟を掲出し啓発活動に努める ②火災予防に関する広報・印刷物の配布 ③南防火協会主催の消火技術競技大会に参加 ④町内会・女性会等地域単位で実施する消火訓練や防火座談会への助成 ⑤年末特別警戒の実施)等を実施し、火災予防に関しては一定の成果は得られていると自負しています。

しかしながら近年、数十年に一度しか起こらない自然災害が全国各地で発生しており、福山市においても例外ではありません。防火協会西支部といたしましては、自主防災組織、消防団等の関係団体と緊密な連携を図り、あらゆる災害に対し、西学区民の安心と安全の確保に努めてまいりますので、より一層の御支援、御協力をお願いします。



【防火協会西支部の役員】

## 『全体の奉仕者たらん西分団』

福山市消防団西分団長 佐藤登志海

日頃より西分団に対しましてご支援ご協力いただき誠にありがとうございます。また、7月の豪雨災害で被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。我々西分団は福山市消防団第3方面隊に所属し、西分団内の訓練だけでなく他分団との連携を図りながら消防団行事や訓練等に参加しています。

そして、学区のさまざまな行事や防災訓練等に参加し、地域の皆様とのコミュニケーションを図り少しでもお役にたてるようにと活動しております。これからも西学区・明王台学区の防火防災のために地道に活動して参りますのでよろしくお願いいたします。

※西分団を含む第3方面隊の分団による「消防団ふれあいまつり」を11月4日(日)に曙小学校で開催。皆様のご来場をお待ちしています。



7月6日深夜に西日本豪雨で佐波町の水害地へ出動した西分団の皆さまです

## ◆『第38回消火技術競技大会』雨天中止が残念!◆

福山市南防火協会西支部(会長・宇ノ木俊治)は、火災等災害の未然防止を図ることを目的に活動をしています。この度、西支部では活動の一環として池之淵と三之丸の女性会から2名ずつ選出した2チームが9月8日(土)の福山市南防火協会主催、第38回消火技術競技大会に出場をしました。しかし大会当日は雨で危険なため中止になりました。事前に西小学校で訓練を重ねての出場でしたが残念でなりません。事前の6日(木)の訓練の様子です。



【火災報知機の合図で火点に走る】



【通報】【もしもし、西学区が火事です】



【粉末消火器で見事に消火】



【火点めがけてバケツで水消火】

### 市民憲章運動全国大会(花巻市)

◆9月1日・2日に花巻市で「市民憲章運動推進全国大会」が開かれ、福山明るいまちづくり協議会から各学区選出の中央委員が27名参加しました。ご挨拶・「鹿踊り」「雨二モマケズ」朗読の歓迎アトラクション・「宮澤賢治の銀河宇宙と真のまちづくり」講師/宗教学者/山折哲雄氏の講演・3名の活動発表とフォーラム、最後は大会宣言がありました。◆夜は花巻温泉で交流交換会があり、福山の参加者は福山市民憲章を手話で発表して、大きな拍手を頂きました。



◆翌日は研修視察でした。まずユネスコ無形文化遺産、早池峰神楽「大償神楽」を鑑賞。早池峰開山の祖・田中兵部が建立した田中明神の神主より大償の別当家へ伝えられたものです。



◆次に「宮沢賢治記念館」に行きました。宮沢賢治の詩や童話など多彩な感性の持ち主の世界に親しむ施設です。愛用品、原稿、などゆかりのものの展示を見ました。憲治の母親の言葉「人というものは、人のために何かして上げるために生まれてきたのだ」との言葉が心に残りました。



◆終りは「花巻新渡戸記念館」を見学しました。新渡戸家のゆかりの品々、稲造の世界等を紹介する記念館です。彼が生涯国際平和に尽くしたルーツを知りました。



### 西学区敬老会開かれる

◆9月17日午後2時からニューキャッスルホテルで『西学区敬老会』が盛大に開かれました。75歳以上131名、来賓19名、女性会役員22名で生きる喜びが湧いてくるような実りある敬老会でした。◆今年の75歳以上は1,218名で櫻武和子さんが代表して記念品をお受け取りくださいました。  
【西学区女性会の皆さま】



### 敬老会 アトラクション



西幼稚園「新福山音頭」



紅葉保育所「手の平を太陽に」



リーデンローズ・アンサンブル



西保育所「有難うの花」

【編集後記】「ホロコースト記念館」を見学して、「平和と人権の尊さ」を改めて知りました。

戦争は人権を全く無視して殺し合う犯罪です。互いに殺し合うのが戦争、助け合うのが平和です。

私がいつも本通りで出会うご老人に「人権とは何ですか」と尋ねました。すると即座に「それは『命』だ」と答えられました。私「では何故人は殺し合いをするのですか」ご老人「欲と怒りがあるからだ」と。以前から気軽に話しかけられては哲学の話をしてもらえるので、世の中には変わった御仁もいるものだと思います。話題はいつしか「基本的人権」がテーマになりました。私「欲と怒りで殺し合うなら欲と怒りは一生無くならない、殺し合いも尽きないのではないですか」すると、ご老人曰く「だから人は学び続けねばなりません」と、力強く答えられました。私はこの一言に目が覚めました。

以前のテレビで、広島で原爆に遇って原水禁の活動をされている代表者に、NHKの記者が聞かれました。「原爆に遇って相手を恨み怒ることはありませんか」すると「無いと言えは嘘になります」「どうしたら恨み怒りの心は消えるのですか」「それは生涯かけて学ぶしかありません」と。

私は「ホロコースト記念館」へ行き「人間の排除性と絶対の包摂性を学ぶ」ことが「欲と恨み」から人間が真に解放されていく道だと教えられました。  
(西公民館長)